

6 今年度の重点目標に対する総合評価

本校は、「地域から信頼、期待され、地域の伝統・文化を理解し継承できる人材を育てること」を教育目標としている。このことを踏まえ、5つの重点課題の改善に取り組んだ。

「学習活動」に関して、予習・復習の習慣については1、2年の67%、各テストの見直しの習慣についても70%となり、目標の75%は達成できなかった。特に2学期の落ち込みが目立つ。教科担当者による個別指導やテスト後の指導を行ったが、さらに改善を要する。評議員からも阻害要因をよく探って対応してもらいたいとの指摘を受けた。教師の授業力の向上については、互見授業回数は目標を上回り、学び合い活動、ICT活用は目標を下回ったが95%と高い水準であった。

「学校生活」に関して、社会的なルール・マナーの実践度は目標を若干下回ったが、ほぼ目標を達成した。健康健診を受けての受診完治率についても72.8%と目標を上回ることができた。保護者会での呼びかけや保健だよりでの啓発が効果的であったと思われる。

「進路指導」に関して、一人あたりの面接指導回数、年間に6回以上（3年生は10回以上）の目標をほぼ達成した。丁寧な個別指導や教員からの声かけは、本校の学習指導を支えているが、その伝統を継承している。また、進学したい学部学科ジャンルや、具体的な大学を適切な時期に決める生徒の割合は、昨年比10%以上上昇し、一昨年のレベルに回復した。

「特別活動」に関して、学校行事は中止または規模を縮小して行われたが、実施した生徒会行事への生徒の満足度は、ほぼ目標値に達することができた。部活動においても、全学年で90%を超える満足度を得ることができた。

「読書指導」に関して、学校図書館書籍の貸出数は昨年をやや下回ったが、全校読書冊数総数については目標を達成した。今後とも教科との連携を密にして図書館利用を促進する必要がある。

「保護者・地域・同窓会との連携」に関して、PTA研修会等の行事の参加率は約80%を超え、目標を達成した。反面、各種施設訪問、地域ボランティア活動も新型コロナウイルス感染症対策の見地から配慮せざるをえなかったため、地域との交流は大幅に減少した。しかしながら課題研究で地域や市役所との連携を増やすことができた。

学校評議員からは、教育環境の保全、教育の機会の保持に努めていることへの高い評価、並びに今後とも高い目標を持って生徒を育てていただきたいとの激励の言葉をいただいた。

7 次年度に向けての課題と方策

- ・主体的な学習姿勢において、年度当初の意気込みが持続するよう、働きかけの工夫を要する。
- ・ICTの活用、学び合いを取り入れた授業の取り組みの向上はあるが、一層の工夫を継続する。
- ・守るべき規則の確認徹底を、生徒によるルールづくり等の主体的な取り組みを通して進める。
- ・進路面における面接内容の質の向上を図り、進路系行事を行う際の事前学習を充実させる。
- ・行事において、感染症対策を徹底し、生徒が主体的、協力的に企画や参加する体制を整える。
- ・図書委員活動の活性化、各ブースの活用と教科との連携を通して、図書館の利用を推進する。
- ・感染症対策を徹底しながら、地域における課題研究、交流、ボランティア活動に取り組む。

8 学校アクションプラン

令和3年度 砺波高校アクションプラン -1-		
重点項目	ア 学習活動 教科指導	
重点課題	授業を中心とした学力の養成と自己学習の充実	
現 状	<p>○授業に対して主体的に取り組み、深く考えを働かせる生徒、テストを見直し今後 に活かす姿勢が身につけている生徒の割合が伸び悩んでいる。昨年からの取り組 みを継続したい。また生徒への働きかけを工夫する必要がある。</p> <p>○授業力向上のため、互見授業を行って日々の授業改善に取り組むとともに、授業方 法の研修会等に積極的に参加して、新しい指導法を吸収し授業に反映させている。</p> <p>○すでに利用している教育クラウドサービスと、7月に生徒と教員に1台ずつ配備さ れるタブレットPCを使用した、効果的な活用方法を見いだす必要がある。</p>	
達成目標	<p>①家庭学習習慣のアンケート調査</p> <p>a) 1、2年生の「予習復習をしっかり 行っている」と答える生徒</p> <p>b) 1、2年生の「各テストの見直し を必ず行い、その後の学習改善に つなげている」と答える生徒</p>	<p>②教師の授業力向上</p> <p>a) 互見授業に参加した回数1人3回以上 とする。</p> <p>b) 授業で、ICT機器を効果的に活用す る。または、学び合い活動を行う。</p>
	<p>a) 達成率75%以上 b) 達成率75%以上</p>	<p>a) 達成率70%以上 b) 達成率100%</p>
方 策	<p>○予習復習を重視させることで、主体的に授業に臨み、深く考えを働かせる習慣を定 着させる。</p> <p>○学習実態調査、面接を継続し、生徒の生活実態や学習意識の変化を把握する。</p> <p>○生徒の実態を踏まえ、教科担当者から面接やアドバイス等を行うなど、学習改善に つながる取り組みを積極的に進める。</p> <p>○教科部会、互見授業、授業研修会などを通じて指導力を高めるよう努力する。</p>	
達成度	<p>1,2年平均(a)67%、(b)70% 7月調査→12月調査(自己評価)</p> <p>a) 1年:74%→58%、2年:70%→65% b) 1年:81%→64%、2年:67%→67%</p>	<p>a) 85% b) 学び合い95% ICT95%</p>
具体的な 取組状況	<p>① a) 生徒の実態に応じて、教科担当者は個別指導やノート回収、面接やアドバ イス等を行っている。b) 答案返却後の解説を行ったり外部模試終了後に自己採点や 解説、振り返りさせたりするなどの指導を行う。</p> <p>② GIGAスクールサポーターによる研修を月に1回程度行った。 Google Workspace や 授業用動画作成および編集などの技能が向上した。</p>	
評 価	C	A
学校関係 者の意見	<p>① 1年生は予習復習のやり方など教科面接を通じて指導し学習習慣を定着させてほ しい。テストの見直しは100%やってほしいが、なぜ生徒に浸透しないのか。阻害要 因をよく探って対応してもらいたい。</p> <p>② ICTを活用した教育について、大変よくすすめている。今後もうまく活用してい ってほしい。</p>	
次年度に 向けての 課 題	<p>① 予習復習の取組状況やテストを見直し学習改善につなげる取り組みだけでなく、授 業に対する満足度を高める工夫をしなければならない。(指導と評価の一体化)</p> <p>② 互見授業に参加した回数はが昨年より増加し目標を達成できた。ICT活用、学び 合いを取り入れた授業を行った教員の割合は高い状況にある。授業改善の取り組み にゴールはない。授業改善が行いやすい仕掛けや工夫が今後必要。</p>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:達成できなかった)

令和3年度 砺波高校アクションプラン -2-

重点項目	イ 学校生活 生活指導（心身の健康指導を含む）	
重点課題	学校生活における基本的な生活習慣の涵養と健康増進	
現 状	<p>① 規律ある生活として「挨拶の励行」「服装、頭髪の整備」「時間厳守」「公共でのマナー遵守」「携帯電話の適切な使用」を挙げているが、「社会的なルール・マナーを守る気持ちを持つ（意思表示）」即ち、ルール・マナーを守り実践すると回答した生徒は92.2%（令和2年度）である。過去5年間で最低の数字である。</p> <p>② 家庭生活における携帯電話（スマホ）の使用時間2時間以上の生徒が増加し、学校生活及び健康への悪影響が懸念される。また、健康診断結果として治療カードを渡しても、医療機関へ行かない生徒が多い。治療の必要がない生徒及び受診完治した生徒の割合は56.3%（令和2年度）である。</p>	
達成目標	①社会的なルール・マナーを守り実践する	②健康診断の結果、治療の必要がない生徒及び医療機関を受診して完治した（治療カードを提出した）生徒の割合
	98%以上	70%以上
方 策	<p>○「社会的なルール・マナー」についてのアンケートを実施して理解度を高める。また、実践する生徒を増やす方策として、生徒が作り宣言したルールを守る形として生徒の自主性に任せる。</p> <p>○保健だよりや掲示などによる啓蒙活動の推進や、個別の保健指導の充実により、自己の心身の健康に関する知識や理解度を高める。</p> <p>○生徒保健委員会を中心に健康保持を呼びかけ、生徒が自主的に基本的な生活習慣の確立や健康増進に努めるよう意識の向上を呼び掛ける。</p>	
達成度	94.4%	73.8%
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会的なルール・マナー（規則の理解と実践する意思）」についてのアンケートの実施（6.10月）（7年目） ・生徒による「学校ルールづくり」新制服の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診後、1・2学期保護者会の3回治療の案内を配布。保護者会での配布は効果が高い。 ・保健だよりの発行
評 価	A	A
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「マナー・ルールを絶対守る」と答えてくれる生徒が多く、安全・安心な学校であると感じる。社会に出ても変わらず、その心を持ち続けることができる生徒の育成を継続していく。 ・携帯電話（スマホ）の使い方によって健康面に色々と影響があることから、使い方について周知しておくことが大切である。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ◇自主自律 ・生徒による「学校ルールづくり」及び宣言の継続実施。 ・「社会的なルール・マナー」についてのアンケート継続実施。（8年目） 	<ul style="list-style-type: none"> ・視力の悪い生徒が多く、また視力検査で初めて気付く生徒が多い。気になったらすぐ計測できるよう、常時保健室で計測できるよう測定器を設置しておく。また治療を終えていない生徒に対して、再度計測し治療を促す。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：達成できなかった）

令和3年度 砺波高校アクションプラン -3-

重点項目	ウ 進路支援 進路指導	
重点課題	進路目標の実現に向けて、進路意識の高揚と目標設定の早期化	
現 状	<p>○進路意識が希薄で、自分の能力や適性を把握できないため、目標設定が遅れる生徒がいる。</p> <p>○進路目標はあるが、意識の深まりや学習意欲につながらず、学力が不十分な生徒がいる。</p>	
達成目標	①年間をとおして生徒1人あたりの面接指導の実施回数	②3年1学期までに、進路目標を明確にした生徒の割合
	1、2年生： 6回以上 3年生： 10回以上	80%以上
方 策	<p>○生徒が進路意識を深め、自己を見つめる面接の指導を工夫する。</p> <p>○総合的な探究の時間などを利用して進路研究を行い、進路意識を高める。</p> <p>○社会人や大学生による講話を充実させる。またオープンキャンパスへの参加を積極的に勧めることなどにより進路目標の早期設定につなげる。</p>	
達成度	<p>面接回数</p> <p>1、2年生： 6回 3年生： 10回以上</p>	<p>志望学部学科を決めた時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年3学期まで 65%(昨年51%) ・3年1学期まで 84%(昨年73%) <p>志望大学を決めた時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年3学期まで 46%(昨年36%) ・3年1学期まで 68%(昨年62%)
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は、模試実施後や志望校選択に向けて10回以上実施。 ・2年生は、3年に向けての科目選択学期はじめ、考査実施後に実施。 ・1年生は、入学段階学期はじめ文理選択考査実施後に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生は、総合的な探究の時間、進路講話、先輩と語る等の取り組みを通して、大学や職業の意識付けをはかった。 ※今年度もコロナ禍のため研修旅行や社会人による講話など中止になったものが多かった。 ・3年生は、外部模試毎に志望校の見直しを実施させ、志望校への意識付けをはかった。 ・共通テスト後は、各々の事情に合わせた志望校選択指導を行った。
評 価	A	B
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かい面接指導など生徒を温かくご指導くださり、感謝している。今後もよろしく願いたい。 ・起業家や芸術家など様々な場面で活躍する卒業生が出てきて欲しい。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択に向けての取り組みが、コロナ禍もあり思うように実施できない。また、積極的に情報は流すが生徒の本気度はなかなかあがらないのが実情。さらなる働きかけの工夫が必要。 ・模試実施後の面談については、内容を進路から各担任に伝えているが、その他の面談については、担任任せになっている。 	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：達成できなかった)

令和3年度 砺波高校アクションプラン -4-

重点項目	エ 特別活動 特別活動・読書指導	
重点課題	生徒の主体的な活動の充実と読書活動の充実	
現 状	<p>○学校行事では生徒会が中心となって運営し、クラスや部活動単位で協力し合っ てはじめに取り組む生徒が多い。本校生徒としての自覚や連帯感が高いが、やや消極 的で主体性に欠ける生徒も見られる。</p> <p>○ほとんどの生徒が部活動に所属して主体的に活動に取り組んでいるが、学習との両 立に悩み、達成感を得られていない生徒もいる。また部員数の減少により充実した 活動を維持することが難しい部がある。</p> <p>○昨年度は休校の時期に読書冊数が伸び、5,609(4～2月)、一人平均年間6冊余りを 読んだ。年間貸出冊数は1,477冊(4～3月)。一方で、アンケートによれば年間1冊 も本を読まなかった生徒も27人いる。</p>	
達成目標	① 学校行事において主体的に参加、協 力した生徒の割合 ② 部活動の充実度や結果に対する満足 度	③生徒年間読書冊数 *毎月の生徒アンケートで把握 参考として図書館貸出冊数
	全学年75%以上	4～2月の全校読書冊数総数3,700冊以上 *貸出冊数1,500冊以上
方 策	<p>○行事ごとにアンケートを実施してTGPの身に付けたい力を生徒に意識させ、主体 的、協力的な参加意識を高める。</p> <p>○限られた時間の中で主体的かつ効率的な部活動運営を工夫する。アンケート結果 により生徒の満足度や取組状況等を把握して、今後の運営や指導に役立てる。</p> <p>○アンケートを実施して生徒の満足度や取組状況、読書傾向等を把握し、今後の運営 や指導に役立てる。</p> <p>○課題研究、小論文、授業で必要な本や生徒が必要な本をそろえ、展示を工夫して生 徒が自主的に読書活動を行える環境を整える。</p> <p>○教養講座、読書会の運営、アンケート調査などの活動をとおして図書委員が各ク ラスの読書の推進役となり、生徒の読書意欲を喚起する。</p>	
達成度	<p>①学校行事において主体的に参加、協 力した生徒の割合 81.8% 応援歌練習会 93.2% 体育大会92.7% 砺高祭 59.5%</p> <p>②部活動に対する満足度 91.3% (1年:92.2% 2年:89.6% 3年:92.2%)</p>	<p>2月までの読書冊数 ()は昨年同時期 1年 2,303 冊 (2,976) 2年 1,354 冊 (1,493) 3年 402 冊 (1,140) *4クラス 全校 4,059 冊 (5,609) 参考 貸出冊数 1,369冊 (1,394)</p>
具体的な 取組状況	<p>4月 応援歌練習会事後アンケート実施 6月 体育大会事後アンケート実施 7月 3年生部活動アンケート実施 9月 砺高祭事後アンケート実施 1月 1,2年生部活動アンケート実施 生徒会執行部による部活動アンケ ート実施</p>	<p>○図書部の取組 『砺高生に薦める50冊』『知躬』(年1回発行) 『図書館だより』『新刊案内』(毎月発行) 読書冊数調査・アンケート(年5回) 以上は今年度はGoogleで生徒に配信。 アンケートを元に図書購入</p> <p>○図書委員の取組 『読書への誘い』(毎月発行) 読書会(年4回) 教養講座 砺高祭展示 ビブリオバトル</p> <p>○教科との協力 読書感想文コンクール・課題研究関連書籍準備</p>
評 価	A	A
学校関係 者の意見	<p>○南砺市中学校での部活動の在り方が変わってきている。地域のクラブチームの活動 または学校の部活動のどちらに入るかで悩む場合もある。小中高間の部活動の継続 やスムーズな接続の在り方などについて見通しがてるとよいのではないか。</p> <p>○一人あたり年間7冊程度の読書冊数をどう評価するか。本はたくさん読ませて欲し い。</p>	
次年度に 向けての 課 題	<p>○2年間の感染症に配慮した取組を検証し、生徒が主体的、協力的に企画運営や参加が できるような体制を整える。</p> <p>○部活動の実態を把握し、運営方法や在り方について継続的に検討する。</p> <p>○図書館利用の推進。 教科との連携を密にして、必要な図書を利用しやすくする。 課題研究、小論文指導等における図書館利用の促進。</p>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:達成できなかった)

令和3年度 砺波高校アクションプラン -5-

重点項目	オ その他 保護者、地域、同窓会との連携	
重点課題	保護者や地域、同窓会との連携・協力の推進および広報活動の充実	
現 状	<p>○保護者の学校行事やP T A行事への参加率は他校に比べ高い。</p> <p>○授業や生徒会活動、部活動等、多様な活動を通して地域の方と交流している。</p> <p>○オープンハイスクール等で、在校生から中学生に本校の学校生活について伝えているが、志望者の増加につながっていない。</p>	
達成目標	①保護者がP T A総会やP T A研修会に参加する割合 (保護者会を除く)	②授業や特別活動で地域の方々と交流した生徒の延べ数が全校生徒に占める割合
	80%以上	50%以上
方 策	<p>○P T A行事や学校行事は、文書、メール、ホームページ等の複数の手段で早めに知らせ、できるだけ保護者が参加しやすいよう配慮する。</p> <p>○社会状況を考慮しながら、授業や特別活動で生徒が地域の行事に参加したり施設訪問をしたり、地域の人に来校していただく機会を意図的に設ける。</p>	
達成度	<p>5月 P T A学年研修会 81.8%</p> <p>6月 P T A 3学年研修会 86.3%</p>	<p>・課題研究地域調査12.0%</p>
具体的な取組状況	<p>5月 P T A総会、各学年研修会</p> <p>6月 P T A第3学年研修会、10月 P T A講演会、1、2学年研修会</p> <p>7～12月 2年生「総合的な探究の時間」課題研究地域調査</p>	
評 価	A	C
学校関係者の意見	<p>課題研究の中間発表会を見学したが、とてもよかった。あのような行事もぜひ広報していただきたい。</p> <p>・高校生が地域について学ぶ機会や地域の方から学ぶ機会を設け、地域に関心を持たせることで、いずれ地域の未来を担う人材が育っていくことを希望する。</p>	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの適時の更新に努め、保護者、同窓生、地域の方々に本校の教育活動を広報する。 新型コロナウイルス感染の状況を鑑みながら、授業および特別活動で、地域の方との交流活動や地域課題の解決に取り組む学習を継続する。 	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：達成できなかった)